

令和3年度 議会報告会

# 下水道の料金改定と広域化



## 経済建設委員会

委員長

古長谷 稔

副委員長

宮下 知朗

委員

大房 正治 中村 仁 堀江 和雄 土屋 利絵 佐藤 寛文

# はじめに

## 下水道事業の概況（令和3年3月31日現在）

### 黄色

#### 長伏浄化センター(三島処理区)

事業着手	昭和43年9月
供用開始	昭和51年11月
処理区域内人口	50,002人
整備率	82.2%

### 水色

#### 狩野川西部浄化センター（西部処理区）

事業着手	平成2年12月
供用開始	平成14年6月
処理区域内人口	41,657人
整備率	83.3%

### 合計

処理区域内人口	91,659人
普及率	84.3%

県内3位



# 1 はじめに

ご存じでしょうか？

- 令和元年度に策定された「三島市下水道事業経営戦略」にて、経営の健全化を目的として、令和6年度から、下水道料金の**30%値上げ**を予定しています。
- また、国の要請に基づき、汚水処理の持続的な事業経営を目指すため、**広域化・共同化の検討**がなされています。



三島市の下水道事業は現在、

**将来の方向性を定める大切な時期**を迎えています。

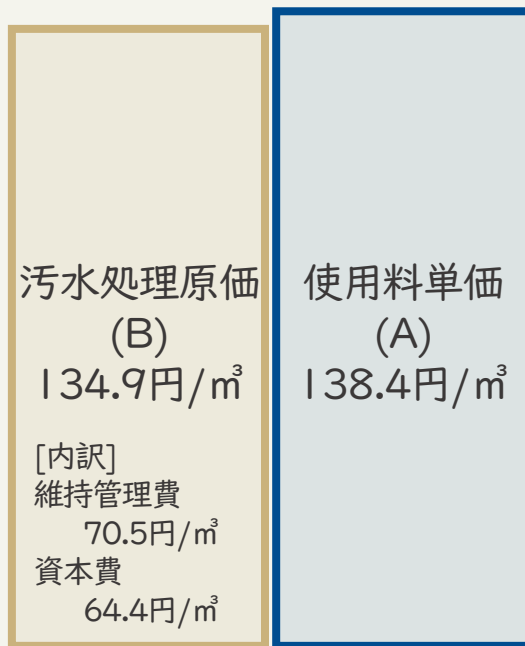
私たちが生活をしていくうえで欠かすことのできない『下水道の今後のあり方』について、ご意見・ご感想を伺わせてください。

## 2 下水道料金の改定について

### 経費回収率の比較

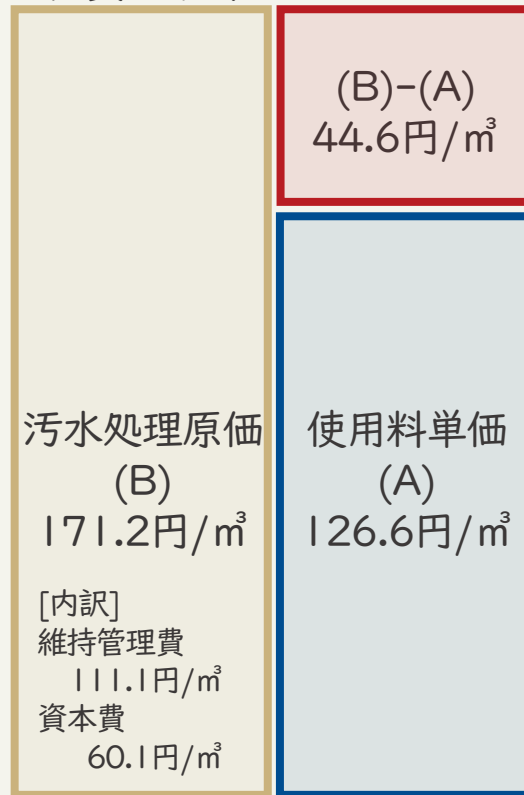
全国

経費回収率：102.6%



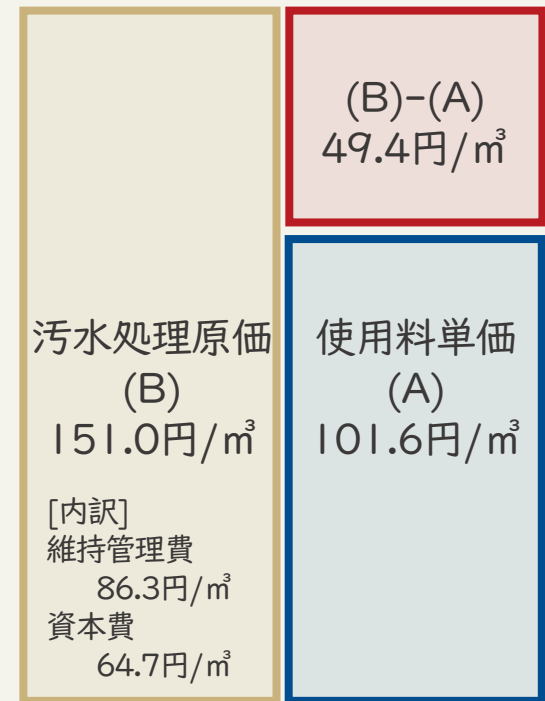
静岡県

経費回収率：73.9%



三島市

経費回収率：67.3%



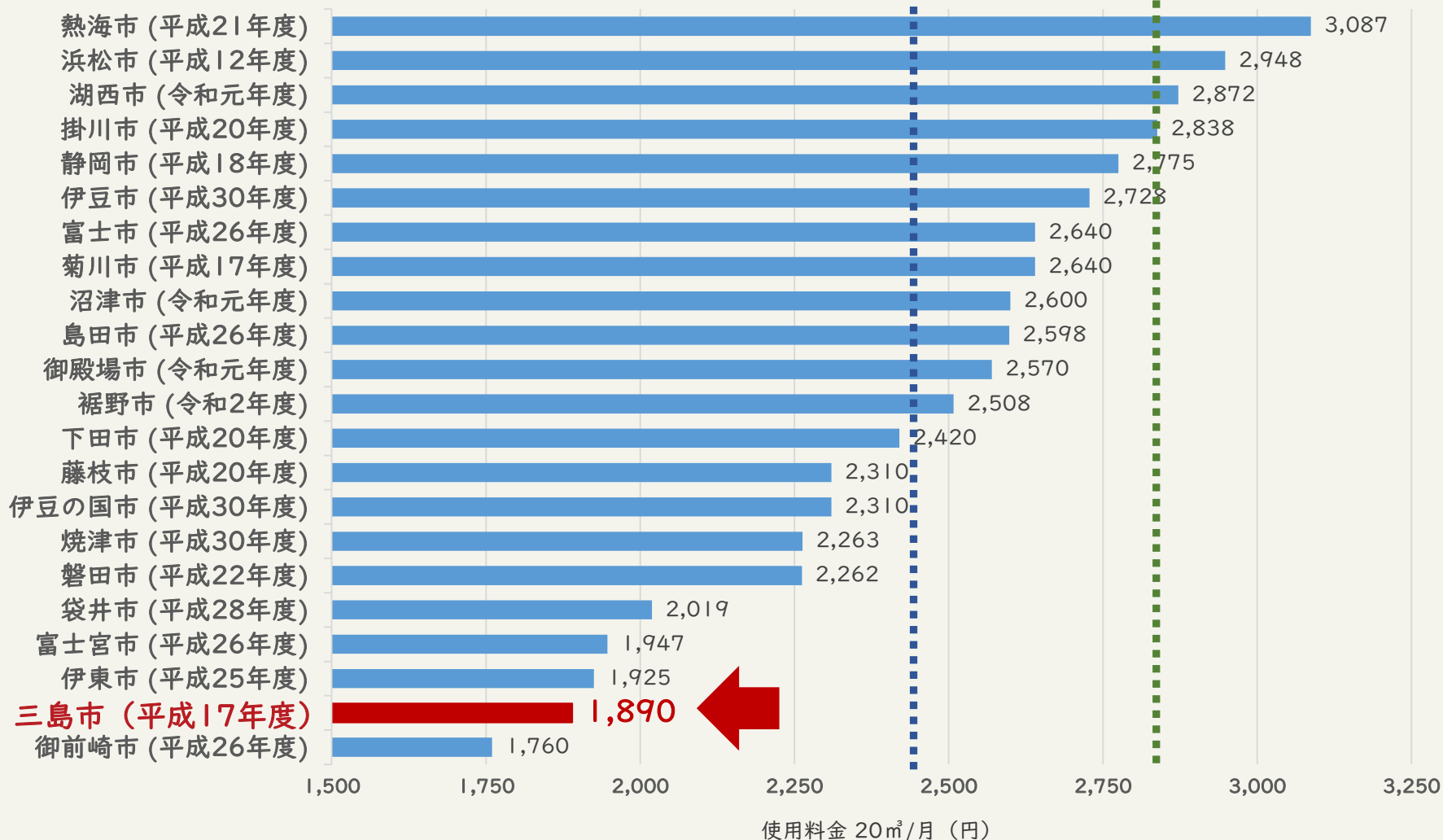
本来、使用料で回収すべき経費が使用料で賄えていない  
三島市の経費回収率：67.3%（全国：102.6% 県：73.9%）

## 2 下水道料金の改定について

### 下水道料金の状況（令和3年8月末）

県内平均  
2,450円

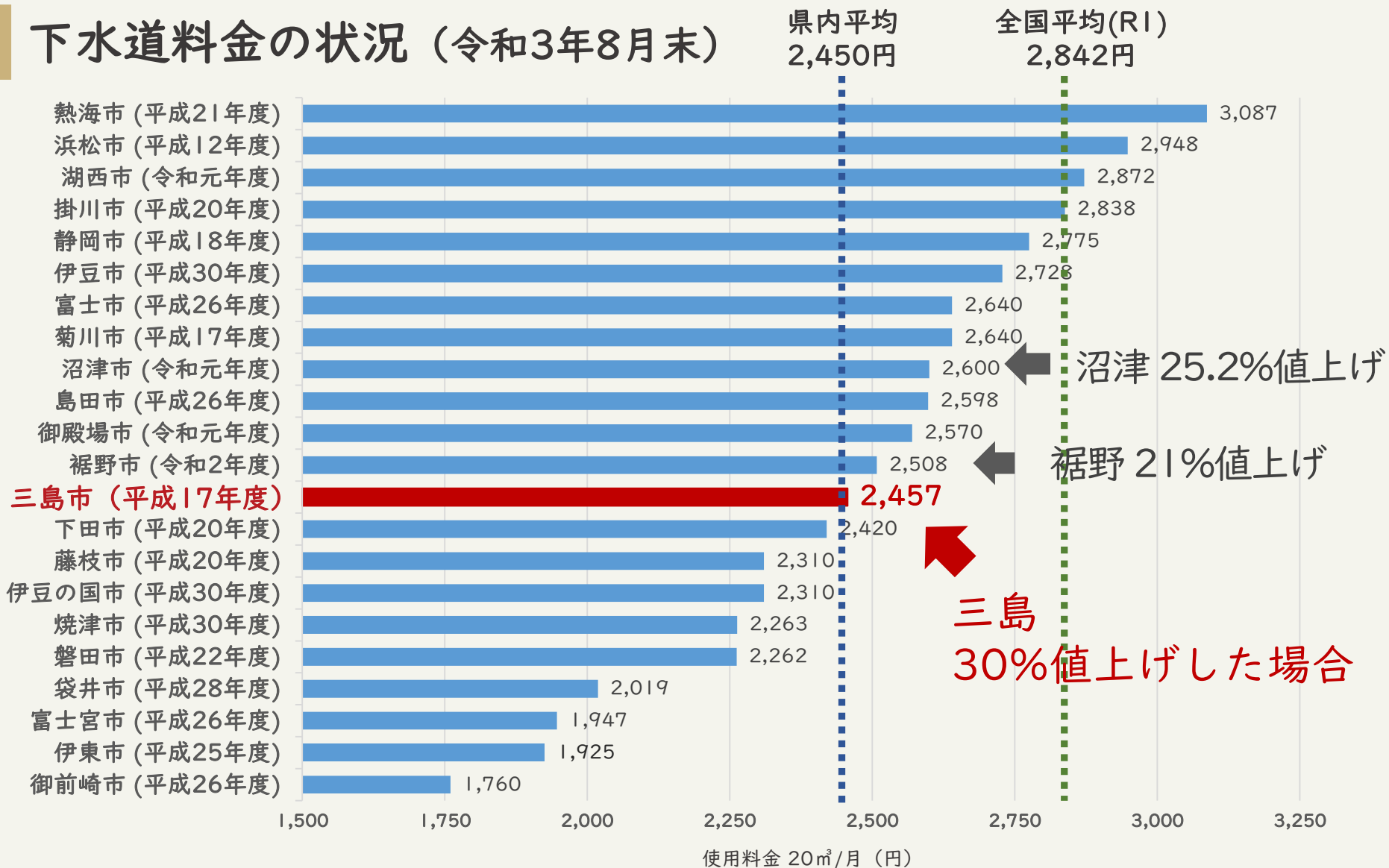
全国平均(RI)  
2,842円



値上げをしていない期間が2番目に長い

## 2 下水道料金の改定について

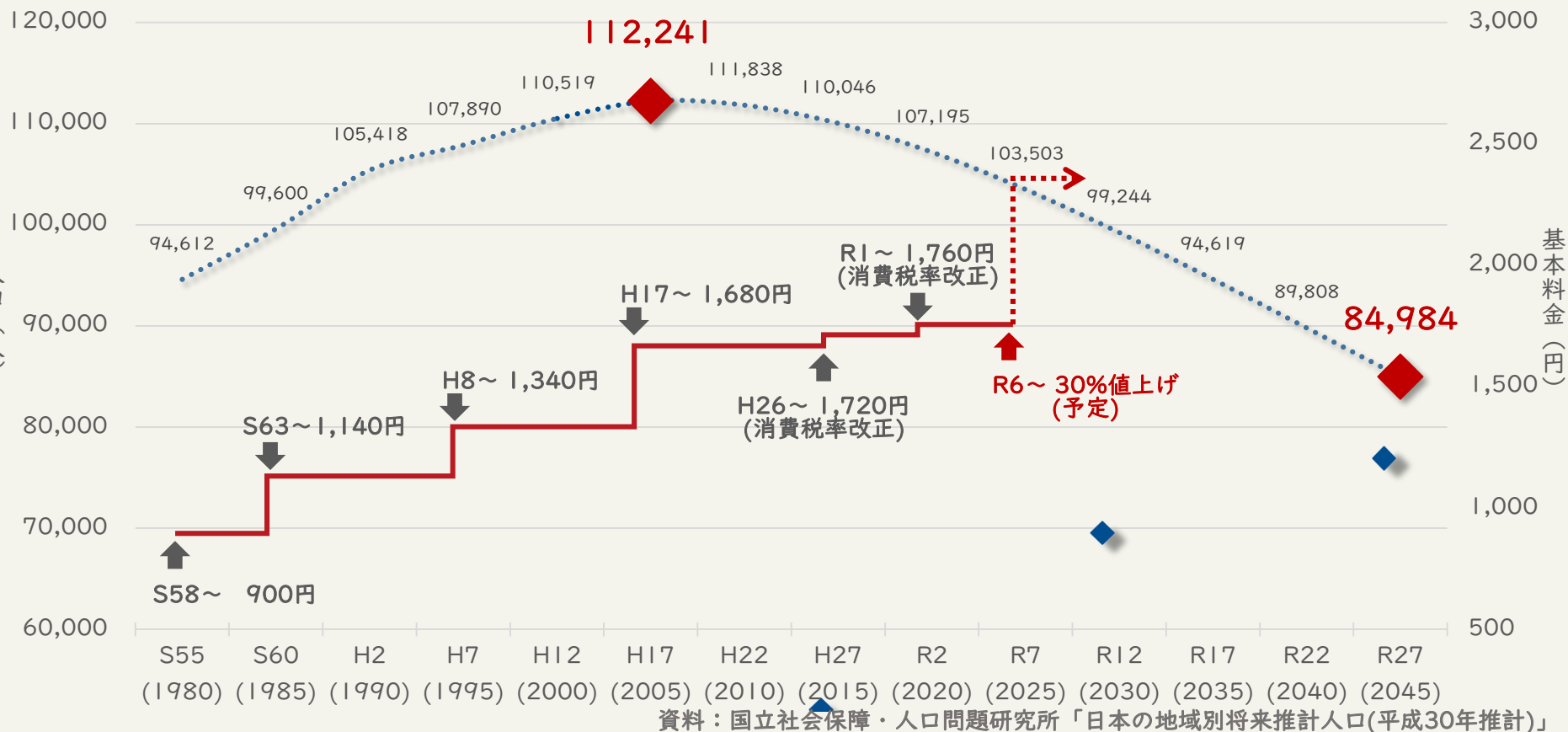
### 下水道料金の状況（令和3年8月末）



30%値上げしても県内平均料金とほぼ同一金額

## 2 下水道料金の改定について

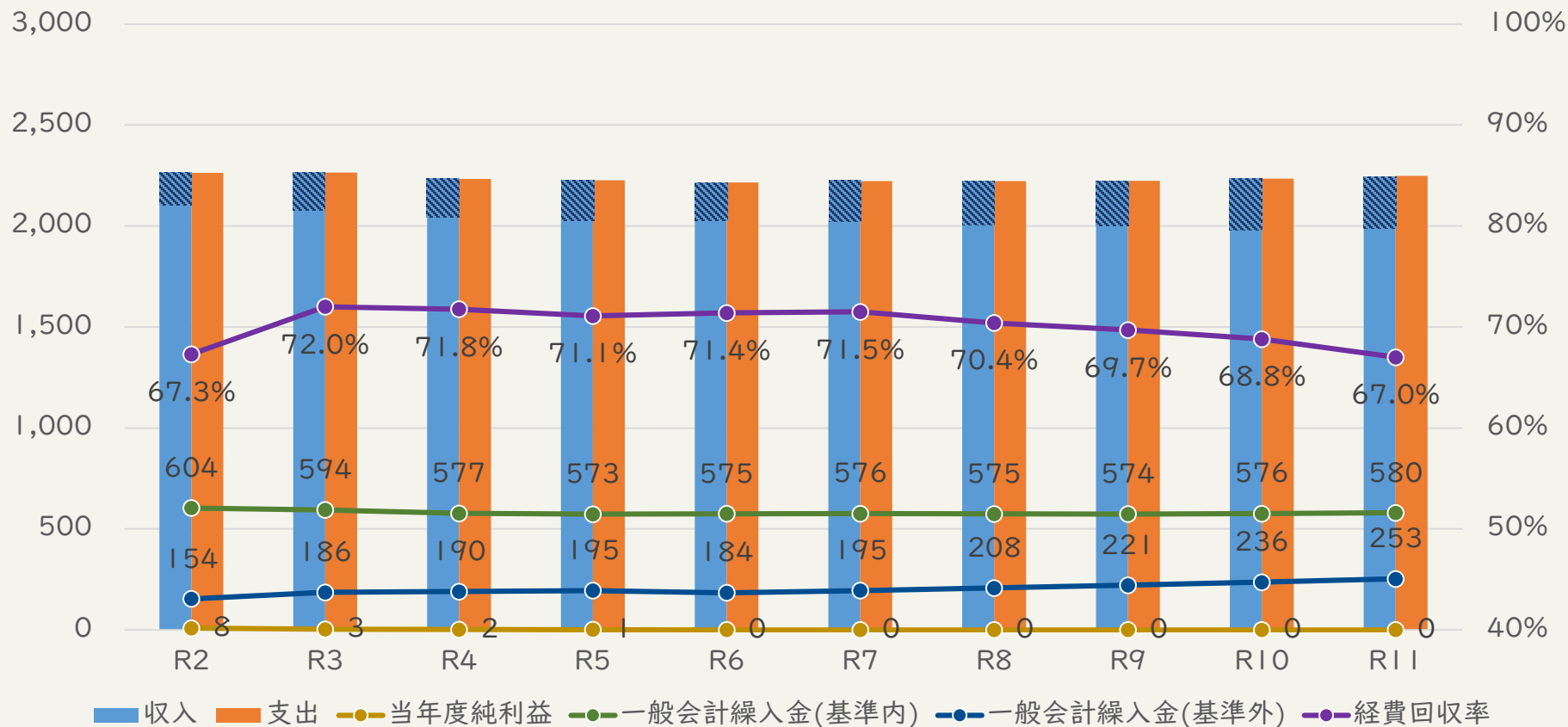
### 人口と基本使用料の推移



三島市の人口は平成17年度をピークに減少することが見込まれる  
➡ 利用者減少に伴い、使用料収入も減少していく可能性が高い

## 2 下水道料金の改定について

### 収益的収支の見通し（単価改定なし）

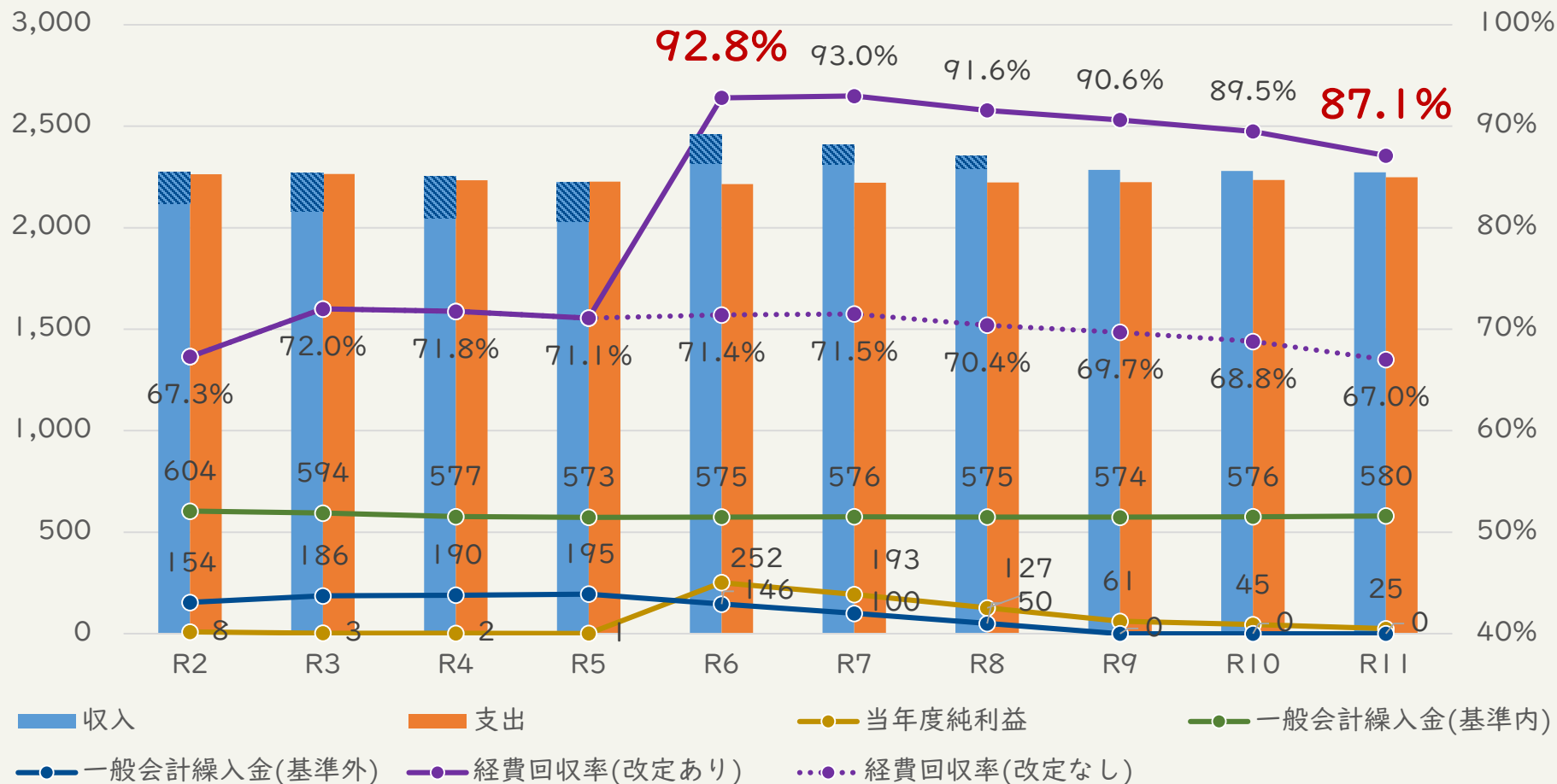


令和6年度以降、赤字となり基準外の一般会計繰入金が増加  
経費回収率も70%前後を推移することが見込まれる



## 2 下水道料金の改定について

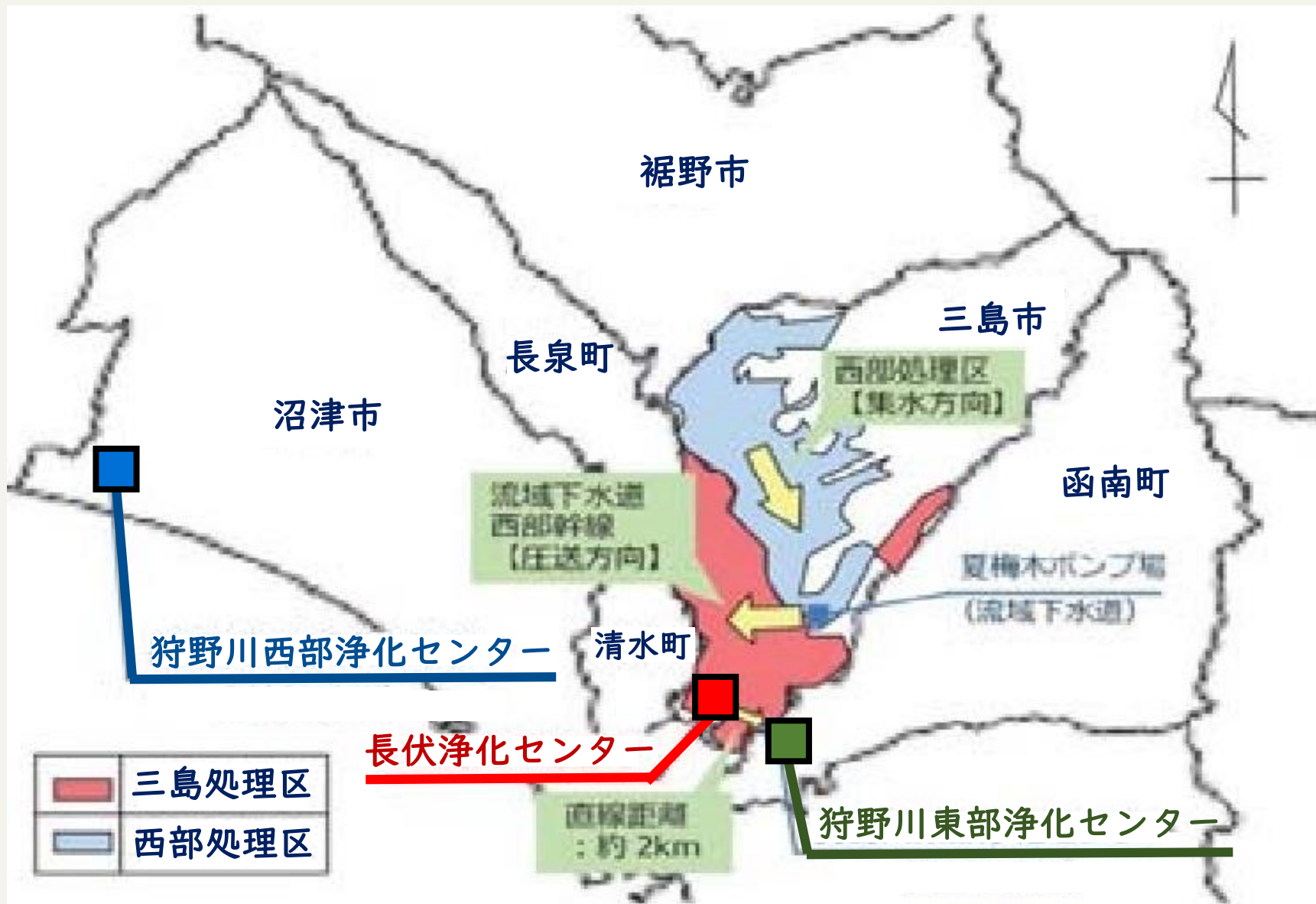
### 収益的収支の見通し（単価改定あり）



30%値上げすることにより経費回収率は改善するものの、  
収支状況を注視し、然るべきタイミングで検討することが必要

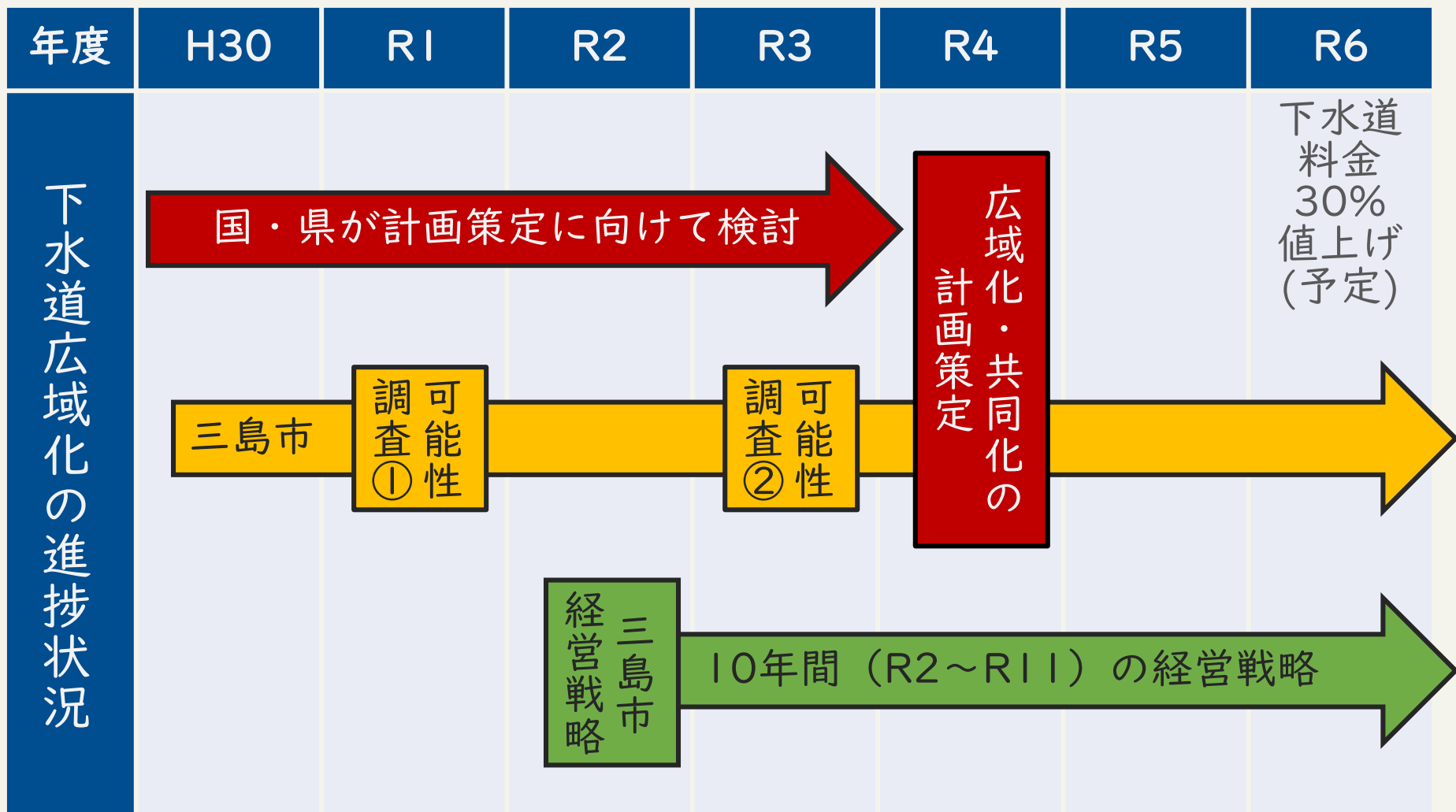
### 3 下水道の広域化

#### 三島市の汚水処理



### 3 下水道の広域化

#### 広域化検討の進捗状況



# 3 下水道の広域化

## 可能性調査① 調査内容

CASE 1

長伏分を  
東部へ  
(西部+東部)

CASE 2

全量西部へ

CASE 3

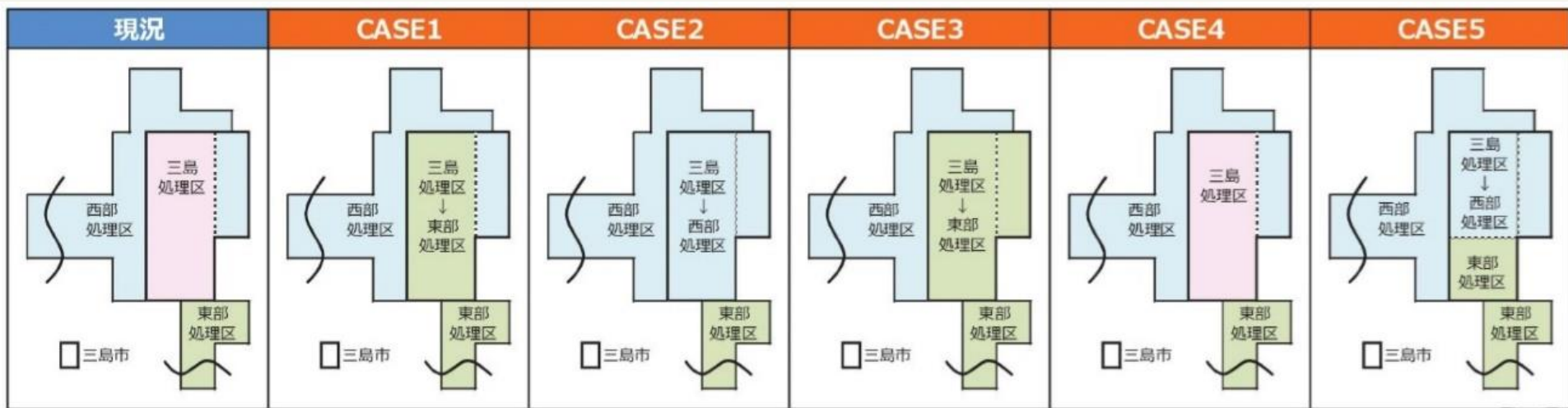
全量東部へ

CASE 4

現状維持

CASE 5

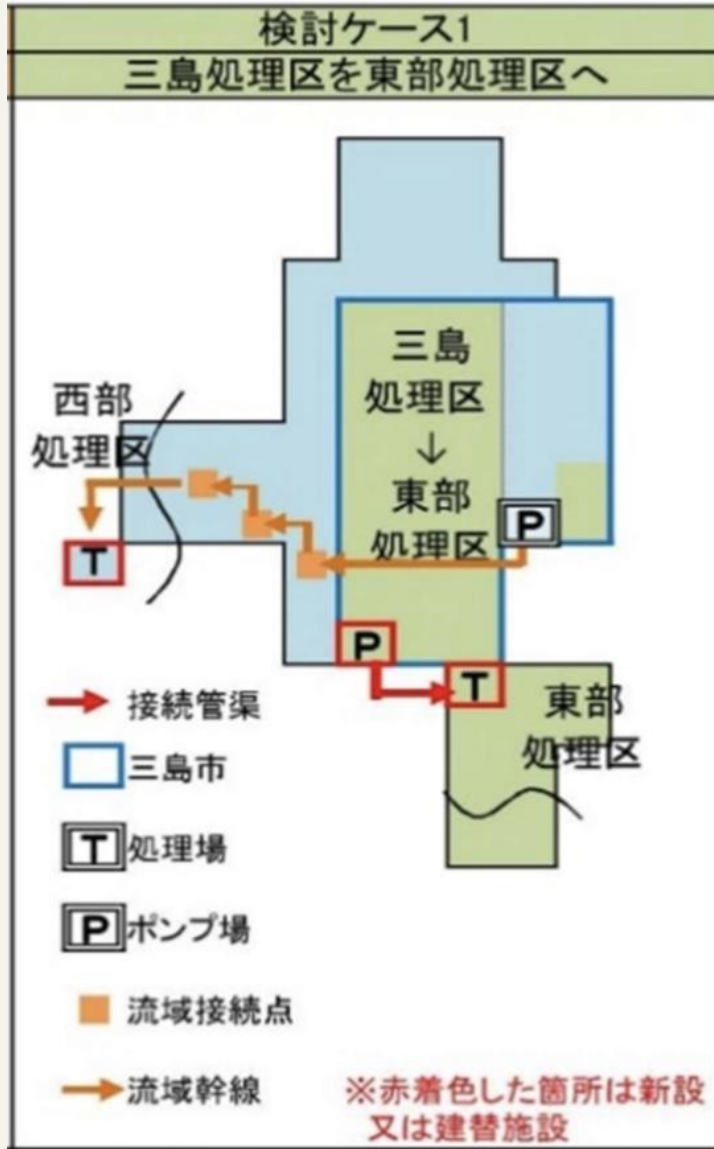
長伏分を  
西部と東部へ  
(西部+東部)



検討ケースの概要

# 3 下水道の広域化

## 検討結果 CASE 1 長伏分を東部へ(西部+東部)



西部+東部(管渠①新設)

処理方法

長伏浄化センター廃止、ポンプ場新設、三島処理区の汚水を全量東部へ

建設費総額

171億4,280万円

建設費(市負担のみ)

63億6,620万円

建設費(1年換算)

1億6,900万円

維持管理費

13億 140万円

建設費+維持管理費(年額)

14億7,040万円

建設+維持管理(33年分)

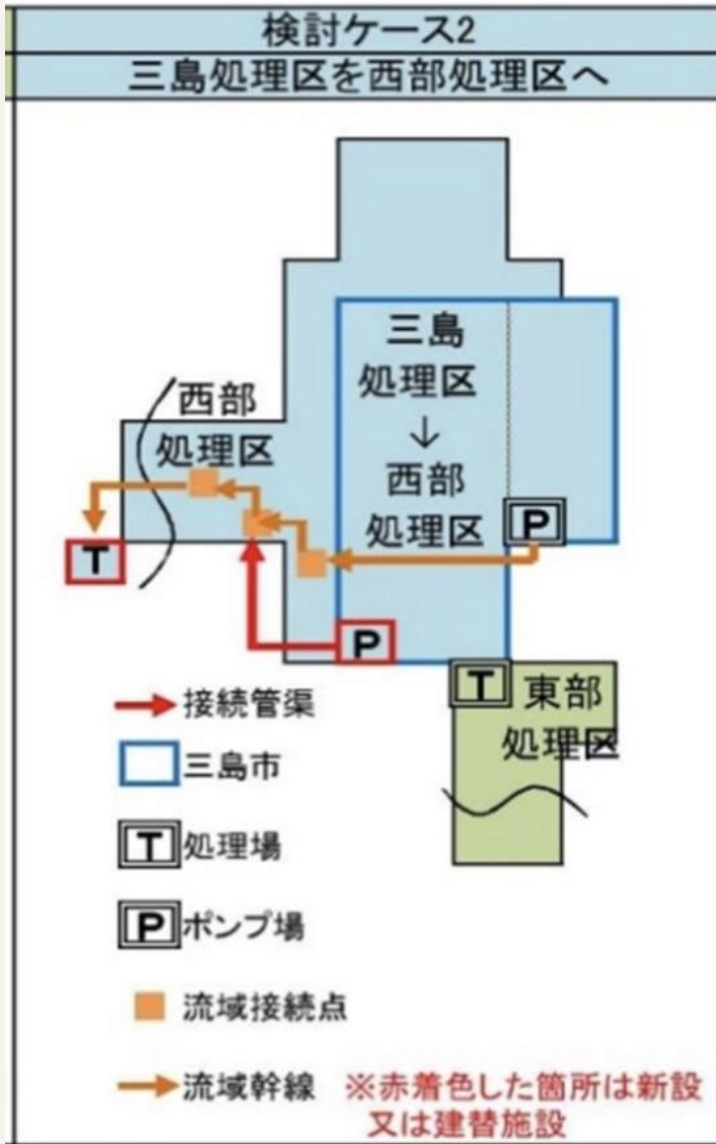
485億2,320万円

施工性

大場川の横断、国道136号線への管渠施工、道路占用

# 3 下水道の広域化

## 検討結果 CASE 2 全量西部



全量西部(管渠②新設)

処理方法

長伏浄化センター廃止、  
ポンプ場新設、三島処理区  
の汚水を全て西部へ

建設費総額

172億6,290万円

建設費(市負担のみ)

68億2,090万円

建設費(1年換算)

1億6,240万円

維持管理費

12億4,720万円

建設費+維持管理費(年額)

14億 960万円

建設+維持管理(33年分)

465億1,680万円

施工性

国道1号線への管渠施工、  
道路占用

# 3 下水道の広域化

## 検討結果 CASE3 全量東部

三島処理区と西部処理区を東部処理区へ



全量東部(管渠①③新設)

処理方法

長伏浄化センターを廃止  
 ポンプ場新設、市全域の汚水を全量東部へ

建設費総額

173億4,500万円

建設費(市負担のみ)

64億9,990万円

建設費(1年換算)

1億7,310万円

維持管理費

13億5,050万円

建設費+維持管理費(年額)

15億2,360万円

建設+維持管理(33年分)

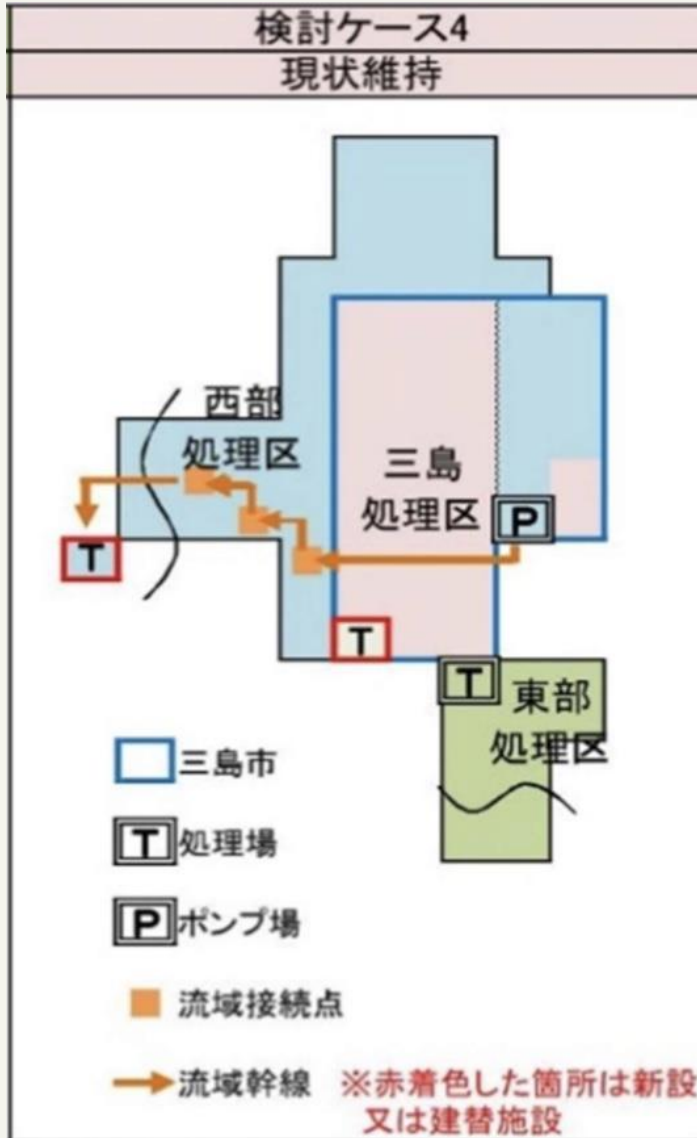
502億7,880万円

施工性

大場川の横断、国道136号線への管渠施工、道路占用

# 3 下水道の広域化

## 検討結果 CASE 4 現状維持



現状維持

処理方法

建設費総額

178億7,190万円

建設費(市負担のみ)

74億3,690万円

建設費(1年換算)

2億2,540万円

維持管理費

10億7,710万円

建設費+維持管理費(年額)

13億 250万円

建設+維持管理(33年分)

429億8,250万円

新たな管渠設置なし

施工性



# 3 下水道の広域化

## 検討結果 CASE 5 長伏分を西部と東部へ(西部+東部)

検討ケース5  
地域特性を踏まえ、三島処理区を分割



三島処理区を西部処理区と東部処理区へ分割し接続する。これに伴い、以下の施設の建替及び新設が必要となる。

- 【建替及び新設が必要な施設】
- ・接続管渠：新設
  - ・ポンプ場：新設(三島終末処理場の用地に新設)
  - ・狩野川東部浄化センター：建替  
(三島処理区分の分割した汚水分(28,000m<sup>3</sup>/日)の建替)
  - ・狩野川西部浄化センター：建替  
(三島処理区分の分割した汚水分(2,800m<sup>3</sup>/日)の建替)

処理方法

西部+東部(管渠①④  
新設)

長伏浄化センターを廃止ポンプ場新設、三島処理区を東部・西部に分割

建設費総額

170億1,290万円

建設費(市負担のみ)

63億1,430万円

建設費(1年換算)

1億6,740万円

維持管理費

12億9,560万円

建設費+維持管理費(年額)

14億6,300万円

建設+維持管理(33年分)

482億7,900万円

施工性

大場川の横断、国道136号線への管渠施工、道路占用

### 3 下水道の広域化

#### 可能性調査①の結果～経済比較～

		経済比較
		建設＋維持管理費（33年分）
CASE 1	長伏分を東部へ （西部＋東部）	約485億円
CASE 2	全量西部	約465億円
CASE 3	全量東部	約503億円
CASE 4	<b>現状維持</b>	<b>約430億円</b>
CASE 5	長伏分を西部と東部へ （西部＋東部）	約483億円

### 3 下水道の広域化

#### 可能性調査①の結果～西部・東部への影響～

		西部・東部への影響 処理施設増設の可否
CASE 1	長伏分を東部へ (西部+東部)	可能
CASE 2	全量西部	可能(影響は中程度)
CASE 3	<b>全量東部</b>	<b>不可(用地不足のため施設増設困難)</b>
CASE 4	現状維持	可能
CASE 5	長伏分を西部と東部へ (西部+東部)	可能

### 3 下水道の広域化

#### 可能性調査①の結果～西部・東部への影響～

		西部・東部への影響
		接続時の管渠能力検討の結果
CASE 1	長伏分を東部へ (西部+東部)	管渠能力検討の結果、余裕あり
CASE 2	<b>全量西部</b>	<b>管渠能力検討の結果、余裕あり。流量オーバーが多少見込まれるため注意必要</b>
CASE 3	全量東部	管渠能力検討の結果、余裕あり
CASE 4	現状維持	管渠能力検討の結果、余裕あり
CASE 5	長伏分を西部と東部へ (西部+東部)	管渠能力検討の結果、余裕あり

### 3 下水道の広域化

#### 経済建設委員会としての考察

#### 第1弾 可能性調査の結論

総合的な評価として、ケース4の現状維持が最も有利

#### 第2弾 可能性調査の委託内容

- ①長期的な人口推移による影響
- ②既施設の改築計画
- ③耐震状況等

→これにより、経済性の評価を中心にブラッシュアップされた調査結果が令和3年度末には得られる予定。



令和3年度 経済建設委員会 【WEB報告】

# 下水道の料金改定と広域化 （おわり）



大房 正治

堀江 和雄

中村 仁

佐藤 寛文

土屋 利絵

委員長  
古長谷 稔

副委員長  
宮下 知朗